

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月21日

計画の名称	函館港における港湾利用の効率性・安全性の向上（防災・安全）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	函館市											
計画の目標	老朽化した施設の機能維持・延命を目的とした改良および大規模地震対策として臨港交通施設の耐震化を行い、港湾利用の効率性・安全性の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	266	A	266	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	老朽化により安全性が低下し利用に支障が生じている係留施設を改良により荷役の効率性・安全性の向上を図る。 老朽化により機能が低下し、改良が必要な係留施設の危険個所を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 (係留施設の危険個所の解消率) = (改良実施係留施設延長) / (改良する必要のある係留施設延長(197m))	0%	38%	100%
2	老朽化により安全性が低下し利用に支障が生じている臨港道路を改良により安全性の向上を図る。 老朽化で安全性が低下した道路の危険個所を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 (道路の危険個所の解消率) = (改良実施延長) / (改良する必要のある道路延長(886m))	0%	29%	100%
3	大規模地震対策として臨港道路（橋梁）の耐震化を行い、港湾施設の安全性の向上を図る。 大規模地震対策として耐震化が必要な臨港道路の耐震化されていない箇所を解消した延長が全体に占める割合を算出する。 (道路の耐震化されていない箇所の解消率) = (耐震化実施延長) / (耐震化する必要のある道路延長(500m))	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H27	H28	H29	H30	H31					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	改良	豊川地区岸壁(-5.0m)改良	L=75m(防食工,舗装工,上部工,附属工)	函館港・豊川地区						57		策定済		
	A02-002	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	改良	中央ふ頭地区道路改良	L=500m(橋梁)(塗装,付属物取替ほか)	函館港・中央ふ頭地区						71		策定済		
	A02-003	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	改良	中央ふ頭地区道路改良	L=500m(橋梁)(耐震補強)	函館港・中央ふ頭地区						52		策定済		
	A02-004	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	改良	大町地区道路改良	照明灯取替23基(L=386m)	函館港・大町地区						38		策定済		
	A02-005	港湾	北海道	函館市	直接	函館市	重要	改良	港町地区ドルフィン補修	ドルフィン補修3基(L=122m)	函館港・港町地区						48		策定済		
												小計						266			
												合計						266			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

函館市港湾空港部において実施

事後評価の実施時期

事業終了後，令和2年4月

公表の方法

函館市港湾空港部ホームページ

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

老朽化した施設を改良補修したことによって延命化が図られ，施設の安全な利用に一定程度寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き老朽化した施設の計画的な改良を実施し，港湾利用の効率性・安全性の向上に取り組む。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	（改良実施係留施設延長） / （改良する必要がある係留施設の延長）		
	最終目標値	100%	目標達成に必要な事業費を確保できず、一部事業を次期計画にて継続して実施することとしたため。
最終実績値	38%		
2	（改良実施延長） / （改良する必要がある道路延長）		
	最終目標値	100%	目標達成に必要な事業費を確保できず、一部事業を次期計画にて継続して実施することとしたため。
最終実績値	80%		
3	（耐震化実施延長） / （耐震化する必要がある道路延長）		
	最終目標値	100%	目標達成に必要な事業費を確保できず、一部事業を次期計画にて継続して実施することとしたため。
最終実績値	14%		